

第3回伊那新校再編実施計画懇話会まとめ

日時	令和3年(2021年)2月16日 18時00分～19時30分		
場所	長野県伊那合同庁舎301会議室		
出席	懇話会構成員27名		
欠席	なし	傍聴者	23名
事務局	伊那北高校	山岡教頭(事務局長), 大石教諭, 倉石教諭, 斎藤教諭, 山崎教諭	
	伊那弥生ヶ丘高校	藤澤教頭(副事務局長), 唐澤教諭, 濱田教諭, 春日教諭, 原教諭	
	県教育委員会	駒瀬高校再編推進室長, 上原主幹指導主事, 久保村主任指導主事	
当日資料	第3回懇話会次第, 第2回懇話会まとめ, 講演会まとめ, 「卓越性の伸長」及び「多様性の理解」, 高校生発表資料		

会議事項

- | | | |
|--------|-----------------|--------------|
| 1 報告 | (1) 第2回懇話会まとめ | (2) 校地検討部会報告 |
| 2 会議 | (1) 高校生による発表 | (2) 意見交換 |
| 3 連絡事項 | 次回予定(令和3年4月20日) | |

高校生による発表及び意見交換

【高校生による発表】(学校紹介及び新校に期待すること)

(伊那北高校)

○100周年を迎え、自由な校風、文武両道等誇りを持って学ぶことができる歴史や伝統、雰囲気が魅力。クロスベンアカデミー講演会等による先輩からの学びや、進学を中心に深い探究的な学びができる環境を新校でも期待。

○改めて生徒に説明する場を設け、生徒の不安や疑問を払拭し学校、生徒、各関係機関が協力していけるようにすることが重要。肯定的意見と共に否定的な意見も大切にし、両校の伝統に敬意を払い、皆が期待を持てる新校づくりに期待。

(伊那弥生ヶ丘高校)

○100年以上の歴史を持ち、進学を中心とした学びと総合的な探究の時間を中心とした探究的な学びが充実。活発なクラブ活動も特色。

○これからの時代に合わせた環境整備が必要。多様な進路実現を保障する学びや探究的学びのいっそうの充実、郷土愛プロジェクトやJICA等と連携した、地域での学び、グローバルな学びや、学校行事等の伝統の継承を期待。

【意見交換】(伊那新校の学びのイメージについて)

○課題解決には判断力、考察力が必要。探究心や疑問を持って学問に取り組むことが大切。

○基礎学力と探究心を持った学生、プレゼン力(表現する力)を育む学校づくりを望む。

○上伊那地区は人口に対する医師の割合が県下で下から3番目。長野県に戻り、医師の道を目指す学びも期待したい。

○自発的に物事に取り組むことが社会では大切。様々な人と関わり、多様性を学んで、多様な力をつけてほしい。

○総合的な探究の時間等で伊那谷の郷土史を学び、地域の成り立ちや魅力を学ぶことも良い。

○これからは国際化の時代。幅広く世界を見て伊那に帰ってきてほしい。

○大学進学を目指す生徒が多い学校になると想定。単なる知識習得だけではなく、自らの可能性を広げられる学校づくりに期待。

○地域に戻ってくる人物を育てる学校、上伊那地域の普通科教育の拠点となるような学校をつくっていくべき。

○高校時代は義務教育の学びを引き継ぎ、より良い人生に結び付けていくステップアップの時期。自己を表現する力等、先生の指導を受けながら成長する場になるとよい。

○中学校の段階では自分の将来についてまだ理解できない場合も多い。高校では多様な人との関わり、多様な学びが可能な学びの場を期待したい。

○地域人材を講師とした課外授業などを通じ、地域と繋がる学校づくりに期待。先生には、上級学校と高校生の橋渡しをお願いしたい。

○中学校と連携した継続的な学習のよりいっそうの推進を希望する。

○この地で生きるための新校、伊那に住み続けたいと思える学校を望む。それには様々な人(地域、教師、生徒、教委など)の力をすべて合わせる必要がある。

【高校生の意見】

○夢は様々な人と関わること。夢は単に職業という枠の中だけで終わらせたくない。

○夢は音楽家。幸せな気持ちにさせる存在になり、人の役に立ちたい。

○仕事と私生活、どちらかを犠牲にしていくのではなく、好きなことを一生続けていきたい。

○自分の名前を世界に広げ、グローバルに活躍できるような仕事をしたい。

今後の検討課題

○第3回懇話会までの事務局説明、アドバイザー講演、高校生発表、意見交換の整理

○探究活動の取組み例(学科、カリキュラム、総合的な時間等について)

○学校生活(生徒会活動、部活動等)の観点からの新校のイメージについての議論